伊奈東中学校 学校だより
伸びゆく東中
校訓：きまりよく 望み高く たくましく
スローガン
「人に好かれる人間を育てる」
2022年3月24日

修了式式辞

【校長　豊嶋　俊彦】

令和３年度の教育課程が本日をもって修了し、２年生は最上級生に、１年生は先輩と呼ばれる２年生にそれぞれ進級します。皆さんは入学したときから、「人に好かれる人間を目指しましょう」と言われてきたと思います。一人一人、アプローチは違うと思いますが、どのようにこの目標に近づいたでしょうか。

このあと、令ワン・グランプリの表彰も行いますが、朝のあいさつ運動に、当番ではなく純粋なボランティアで参加した最多回数記録は１０７回でした。ダントツです。このように令ワン・グランプリを通して、人に好かれる人間へのアプローチをしている人もいました。もちろん、１位でなくても、たくさんの人が参加してくれました。その度に配付したあいさつ参加カードは、１年間で千枚を越えました。この枚数を見ると、人のために自分のできることをやる、やり抜く、そういう思いが直に伝わってきます。

なぜ私が令ワン・グランプリを始めたか、人に好かれる人間になることを目標にしたか、について詳しく皆さんに話したことはなかったと思いますので、話したいと思います。

今から６０年以上前のアメリカ合衆国である実験が行われました。３歳と４歳の１２０名の幼稚園生を、能力は関係なしに、半分はそのままのクラスで、あとの半分はエリートクラスに入れて２年間教育しました。エリートクラスには６人に１人、大学院を出た幼児教育専門の先生が付いて、読み書きや生活の基本（あいさつや思いやり、明るさなど）をしっかり教えました。２年後は家庭に任せてそれぞれの進路を進んだのですが、それを６０年間追い続けたのです。すると大変興味深い結果が出たのです。結論から言えば、エリートコースで２年間生活したグループは、給料の高い安定した職業や、社会に貢献したり自分のやりたいことにチャレンジする仕事に就いている割合がもう一方のグループに比べて、明らかに高かったのです。ここまでは予想どおりですが、原因は勉強ではなかったのです。ＩＱやテスト成績も比べていきましたが、８歳まではエリートコースだった子どもが優位でも、８歳を過ぎると、普通のクラスだった子どもとの差はほとんどなくなってしまいました。つまり、テストなどの勉強は、先にやっても追いつかれてしまうのです。では違いは何だったのでしょうか。観察をしていくと、意外なことが分かりました。エリートクラスだった子どもは、次のようなことに明らかに優れていました。それは、わがままを我慢する心（自制心）、遠いゴールを目指して頑張る心（やり抜く心）、自分を他の人の側から見る力、だったそうです。これらはまとめて「人間性」と言われるものです。

つまり、社会に出て活躍するには、「人間性」を伸ばすことが必要だということが、６０年かけて分かったのです。世の中には、勉強が苦手でも社会で活躍する人もいれば、勉強が得意でも活躍できない人がいます。そこには、「人間性」という見えない力が働いているのです。では、「人間性」は伸ばせないのでしょうか。この実験もしました。そして二つのことが分かりました。一つは、「人間性」は今からでも伸ばすことができるということであり、もうひとつは１１歳から１５歳が大変重要である、ということです。

ではどうやって伸ばすのでしょう。それは、決めたことをやり抜く体験や、豊かな人付き合い、リーダーの経験を積み、我慢したり人に協力する心、を、筋肉のように毎日意識して心のトレーニングをすることが大切だそうです。

令ワン・グランプリはこの研究をヒントに始めました。学力テストでは計れない「人間性」を伸ばすための将来へのトレーニングなのです。トレーニングをした者としない者とは明らかに差が出ます。

皆さんが、次年度、「人間性」を伸ばすためのトレーニングを一つでいいから、取り組んでくれることを期待して式辞といたします。

千枚以上になった令ワンあいさつカード

感動的な卒業証書授与式でした！

３月１１日（金）に第３７回卒業証書授与式が行われました。卒業生は３年間の中学校生活を通して，心身共に大きく成長しました。伊奈東中学校で学んだことを生かし、，今後はさらに大きく羽ばたいてくれることを願っています。ご卒業おめでとうございます。

式に臨む卒業生の態度は大変立派で、義務教育を修了するにふさわしいものでした。１・２年生は新型コロナウイルスの感染防止対策のため教室でオンラインでの式の視聴となりましたが、卒業生の凛とした姿をしっかりと目に焼きつけていました。

1年生　キャリア教育校外学習を実施

１－１は３月１７日（木）に１－２は１８日（金）に「多くの人に触れ、学び、最後に楽しい思い出をつくろう」をスローガンに校外学習に行ってきました。

今回は茨城空港と自衛隊百里基地の見学をとおして働く人々の思いに触れ、視野を広めたり職業観を広めたりしました。普段は中々見学できない場所で、担当の方から説明を受けている生徒たちの表情はとても輝いていました。中学校入学後、初めての校外学習でしたが、互いに交流を深め楽しい１日にすることができました。

ご理解とご協力に感謝いたします！

今年度も新型コロナウイルス感染予防対策で行事の変更等がありましたが、保護者、地域の方々には本校の教育活動にご支援とご協力をいただき本当にありがとうございました。これまでの生徒たちの成長の足跡，学校評価アンケート等でのご意見やご助言等をしっかり受け止め，次年度の教育活動につなげてまいります。

１年間本当にありがとうございました。